

ワールド ウッド トレンド

No. 17, 20 NOV 2014



ヨーロッパ産製材品及び素材の輸出

1. 製材品の生産

(1) 針葉樹製材品

針葉樹製材品は、ヨーロッパの製材生産の中心をなしている。図 1 は、針葉樹製材品のヨーロッパにおける生産の合計と輸出シェアを示している。この図から、ヨーロッパの針葉樹製材品の生産量に対する輸出のシェアは、1993 年の約 3 割から 2013 年の 5 割強まで増加したことが分かる。

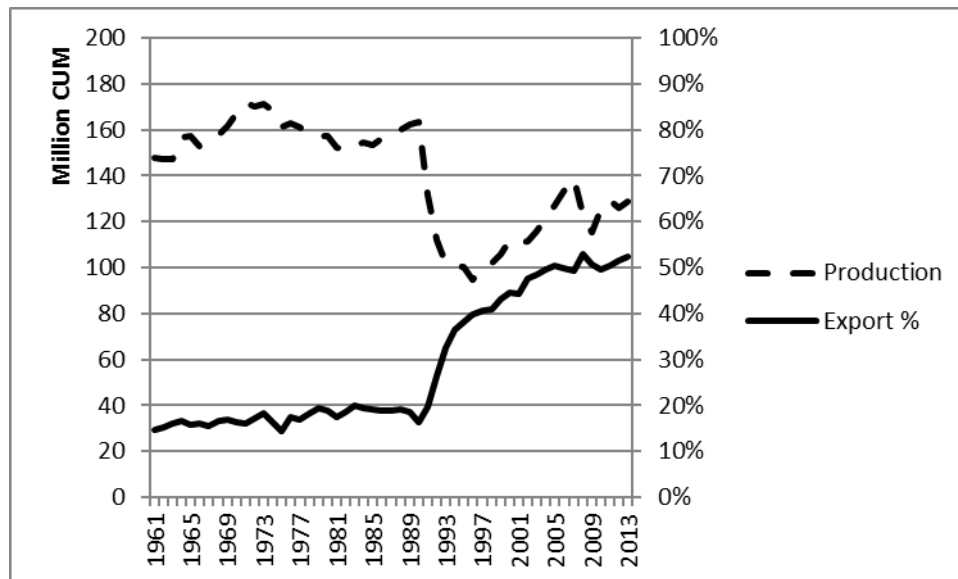


図 1 1961～2013 年におけるヨーロッパ産針葉樹製材品の生産量と輸出シェア

図 2 は、ヨーロッパの針葉樹製材品の輸出量の推移を示している。この図から、1991 年以降、2001 年、2008 年、2009 年を除き、ソ連崩壊前の約 3,000 万

m³から 6,500 万 m³へと安定的に増加してきたことが分かる。年平均増加率は、約 3%であった。

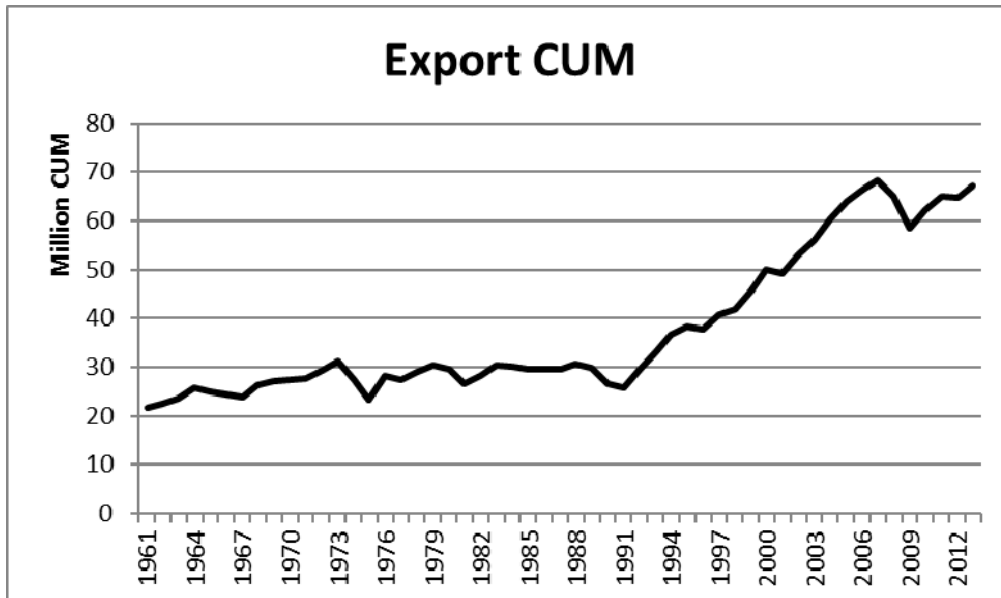


図2 1961～2013年におけるヨーロッパ産針葉樹製材品の輸出货量

表1は、ロシア、スウェーデン、ドイツ、オーストリアおよびフィンランドの2012年（（）内は2010年）の針葉樹製材品輸出货量を示している。

この表は、これらの国々の各々について輸出相手国のトップ5か国を明らかにしている。前記の全輸出国における輸出の半分以上は、これらの輸出相手5か国に輸出されている。オーストリアとフィンランドは例外で、シェアが80%以上ある。

貿易パターンは、様々である。ロシアの最大輸出相手国の5か国にはヨーロッパの国が見うけられないが、他の4か国の場合は、輸出の大部分が他のヨーロッパ諸国（そのすべてがEU加盟国である。）へ輸出されており、残りはヨーロッパの外側のアラビアの国々である。

日本は、ドイツを除く全ての国々において輸出相手国の上位に位置している。2010年と2012年の間の貿易パターンには、注目すべき変化はない。

2012年のスウェーデンの最大輸出相手国5か国のうち、デンマーク(87万6,000m³)とノルウェー(77万8,000m³)はトップ5への新規参入国である。

ドイツの場合は、オランダに代わって米国（73万1,000m³）がトップ5に入ってきている。

（2）広葉樹製材品

図3は、広葉樹製材品のヨーロッパの生産量と輸出シェアを示している。

針葉樹製材品と比較して、広葉樹製材品の生産は取るに足りない程度である。

輸出シェアは、増加傾向にある。ソ連邦の崩壊前には約20%のシェアであったが、その後から2013年までは約45%にまで増加した。

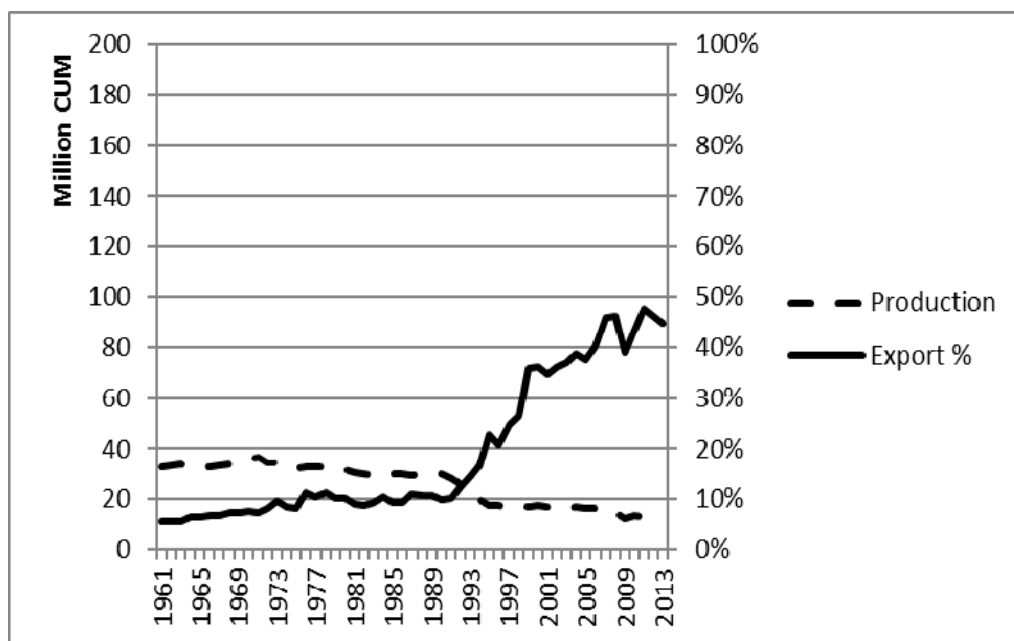


図3 1995年～2013年におけるヨーロッパ産広葉樹製材品の生産量と輸出シェア

図4は、広葉樹製材品のヨーロッパ全体の輸出量を示している。見れば分かるように、針葉樹製材用木材の生産量よりも、本質的に少なくなっている。

1995年末のヨーロッパからの輸出量は660万m³であったが、2013年末には、その量は620万m³に減少した。この減少は、2008年の金融危機の後に始まり、そのとき以来回復していない。

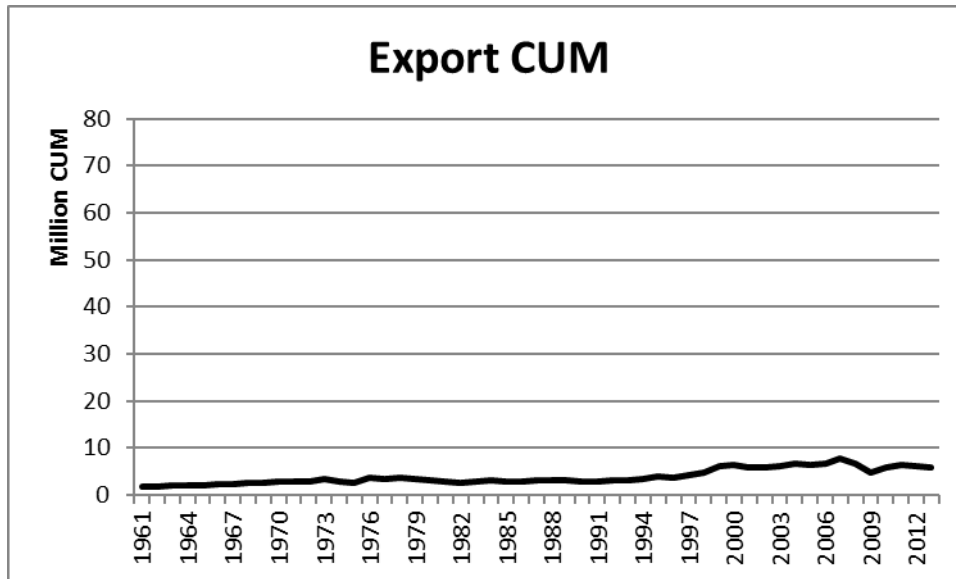


図4 1995年～2013年におけるヨーロッパ産広葉樹製材品の輸出量

表2は、ロシア、ルーマニア、ドイツ、クロアチアおよびフランスの2012年（（）内は2010年）の広葉樹製材品輸出量を示している。

この表は、各輸出国ごとのトップ5輸入国を明らかにしている。全ての輸出国が、その輸出の大部分をこの5か国へ輸出しており、50%を超えている。ルーマニアとクロアチアは、80%以上になっている。

貿易パターンは様々で、針葉樹製材品よりも、はるかにバラエティに富んでいる。多くの国々が登場するが、その大多数は非ヨーロッパの国々である。

さらに、2010年と2012年の間の違いに気がつく面白い。ロシアの場合は極めて明白で、トップ5の輸入国が、サウジアラビア、ウズベキスタンおよびドイツからベトナム(22,000m³)、エストニア(16,871m³)およびデンマーク(12,000m³)に交代している。

表1 2012年(()内は2010年)におけるヨーロッパの針葉樹製材品のトップ5輸出国とそのトップ5輸入国(日本を含む。) 単位:m³

Export from to	China	Uzbekeistan	Egypt	Japan	Iran	UK	Germany	Algeria	France	Austria	Italy	Netherlands	Belgium	Slovenia	Sum	Total	Per cent
Russia	(4344000) 6098800	(1379000) 161700	(1161000) 895000	791 000	(840000) 854000										(8567000) 10359000	(17118000) 19414190	63.4%
Sweden			(1114000) 959000	(743000) 797000		(2288000) 1529000	1 079 000	915 000							(6139000) 4915000	(11358835) 11842000	47.2%
Germany				(83000) 29000					(881000) 819000s	(808000) 771000	(654000) 820000	(628000)	(558000) 565000		(3612000) 3706000	(6487461) 6177057	60.1%
Austria				(274000) 323000			(511000) 538000	(108000) 25000			(2943000) 2411000			(585000) 725000	(4412000) 4070000	(5981449) 5035426	88.5
Finland			(759000) 711000	(640000) 604000		(736759) 501000	- 541000	(623000) 48400	(514000) 551000						(3272759) 3387800	(5824166) 6437347	80.1

表2 2012年(()内は2010年)におけるヨーロッパの広葉樹製材品のトップ5輸出国とそのトップ5輸入国(日本を含む。) 単位:m³

Exprot från, till	China	Saudi Arabia	Kazakhstan	Uzbekistan	Germany	Egypt	Syria	Lebanon	USA	Netherlands	UK	Poland	Italy	Austria	Slovenia	Belgium	Marocco	Algeria	Japan	Sum	Total	Per cent	
Russia	(608000) 737000	(25301) 11807	(8722)	(8308)	(8000)															(4000) 7000	(662331) 794628	(663000))	93.0%
Romania	(214000) 217000	(48708)				(360921))	(70466) 39000	(19792)									- 1700			(1000) 1000	(714887) 725034	(693194))	83.7%
Germany	(236000) 173000								(67000))	(58000)	(55000)	(50000) 48000		- 42000		- 54000				(4000) -	(470000) 356000	(604281))	55.0%
Croatia	(20000) 28000					(261969))							(237000) 147000	(73000) 45000	(34922) 30984					(3000) 3000	(629891) 697984	(527000))	85.3%
France	(70000) 33162									- 56477	(57000) 21167					(76000))	(42909) 32622	(33000) 26322	(331) -	(279240) 169658	(393568))355867	67.0%	

2. 素材の輸出

図5は、EUからEU外の国々への素材の輸出量を示している。

EUの統計の中で使用されている測定単位が100kgであることは注目に値する。このように、輸出の総量より輸出の動向の方が多くの人々の興味をひくのかもしれない。要するに、針葉樹素材も広葉樹素材も輸出は増加している。しかしながら、素材の価格に関連のある輸送費の如何によって輸出が期待できる程度の、全く取るに足りない程度である。しかしながら、図から明白なように、各年ごとの変化は大きく、特に広葉樹の素材については、変化が大きい。

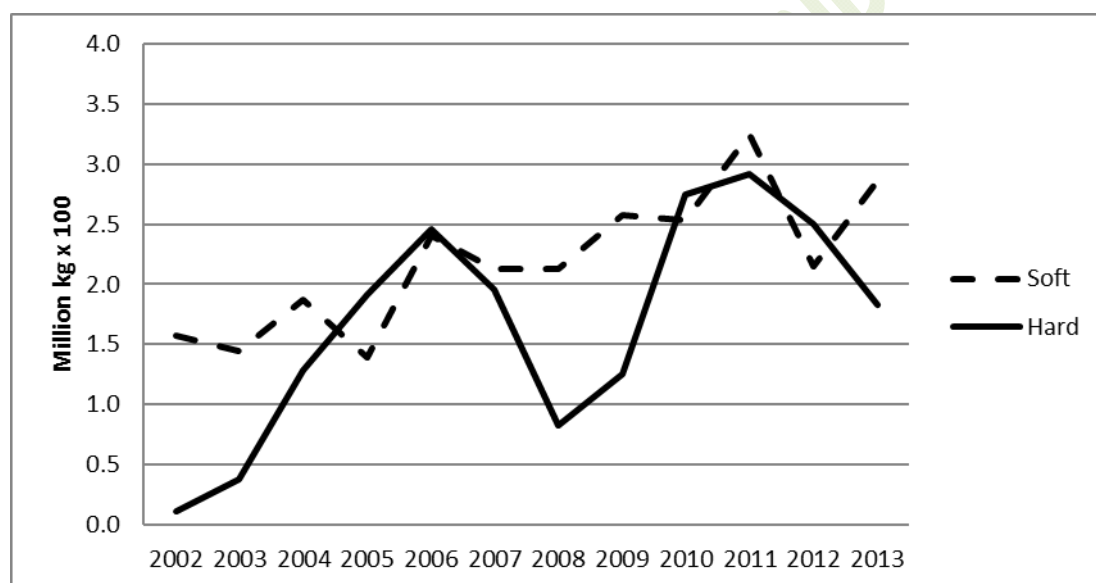


図5 2002年～2012年におけるEUからEU外の国々への素材輸出量

図6は、EUから日本への針葉樹素材、広葉樹素材の輸出量を示している。この図から、日本向けの輸出シェアが小さいが、上下に激しく推移していることがわかる。

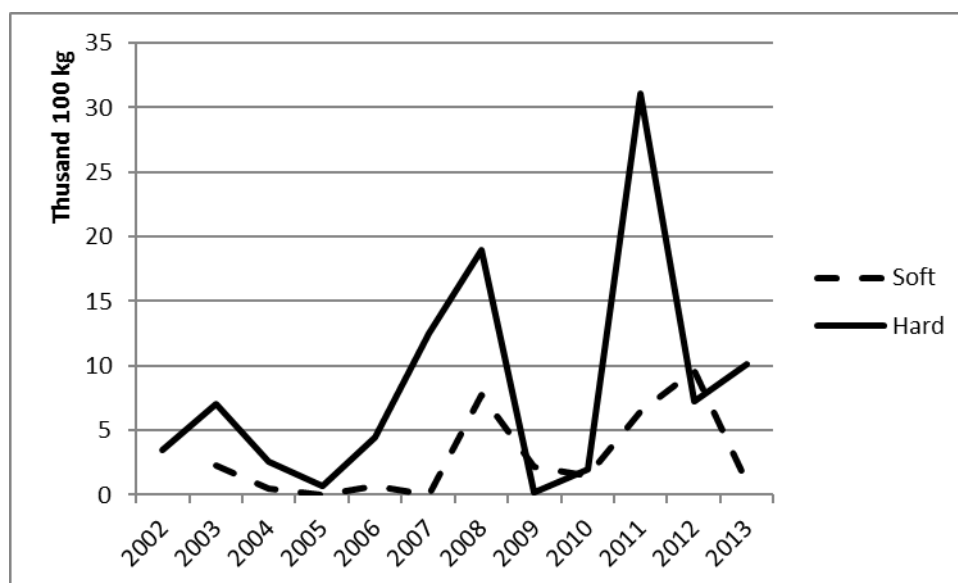


図6 2002～2012年におけるEUから日本への素材輸出量

針葉樹製材品は、ヨーロッパの製材品輸出の中心である。輸出は、増加傾向にある。しかしながら輸出は、2008年の金融危機によって痛手を受けた。長い目で見ると、輸出は、ヨーロッパの経済が回復したときには増加することが期待される。

輸出の大部分は、「森林王国」であるロシア、スウェーデン、フィンランド、ドイツおよびオーストリアからである。輸出の大部分は、ヨーロッパ諸国へ行っている。これは、例えば運送費、伝統的な貿易パターンや文化の類似性を考えれば、驚くべきことではない。

日本は、ヨーロッパ産針葉樹製材品の主な輸入国の一つである。素材のEU外の国々への輸出は、少ないものの増加しており、日本への輸出もまた、多分、増加していくであろう。

(本文は現地レポートを基に編集したもの)